

インタビュー

日鉄住金物産が手掛ける
デニムブランド「RESOLUTE」(リゾルト)株式会社エスビープランニング よしもと かすみ
代表取締役 吉本 一心

「ズームアップ」欄は、「働く人と仕事」をテーマに商社各社のビジネスや人材をご紹介します。今回は、日鉄住金物産グループ会社「エスビープランニング」の吉本一心氏に、同社が展開するデニムブランドを中心にお話を伺いました。

1. 入社から現在の仕事に至るまで

私は1986年にイトマンに入社し、ジャージ素材の販売、カジュアル向けの製品営業を手掛け、その後、1993年の住金物産との合併を経て、日本向け取引のため上海事務所に駐在しました。95年に帰国してからは百貨店アパレル向けのカットソー・ニットの受託製造（OEM）業務に携わりました。2011年に再び上海に赴任し、自社ニット工場の経営に従事した後、2013年4月より現職に就いています。

エスビープランニングは2006年に設立された日鉄住金物産の繊維事業本部グループ会社の一つですが、紳士・婦人・子供用のカジュアル衣料を中心とした製品企画・製造・販売を手掛けています。入社以来、一貫して繊維・アパレル部門において衣料品を手掛けてきましたが、素材販売の他、2度にわたる中国勤務を通じて国内外でのモノづくりの現場に関わることができたという意味で、とても貴重な経験をしてきたと感じています。

2. 日鉄住金物産の「デニムブランド」

(1) デニムブランドのビジネスへの参画

当社は設立以来、OEM事業を手掛けてきましたが、自社ブランド展開によるビジネス

拡大を志向する中で、知遇を得たのがジーンズデザイナー林 芳亭氏です。同氏はレプリカジーンズブームのけん引者として、ジーンズ愛好者のカリスマ的存在として知られますが、新たなジーンズブランド「RESOLUTE」(リゾルト) 立ち上げへの熱い思い、ジーンズ業界での名声、職人気質に、当社としても大変魅力を感じました。また、メンズファッションのトレンドを的確に把握した、林氏のモノづくりへのこだわりは、長期的にも当社のブランドビジネスの柱に成り得ると考えました。

(2) デニムブランド「RESOLUTE」(リゾルト) について

そのデニムブランド「RESOLUTE」は、



エスビープランニングのショールーム

2010年に事業がスタートし、現在5年目を迎えています。その間、顧客層にもいろいろな変化が見られます。当初は、林氏がジーンズデザイナーとして名声を博してきた「DENIME」（ドゥニーム）の延長線上にある新たなブランドとして「RESOLUTE」が位置付けられ、顧客も「DENIME」時代からの林氏のファンが中心でした。

変化が見え始めたのは事業開始から2－3年目後半あたりからで、「RESOLUTE」ウェブサイト（www.resolute.jp）や林氏のブログを通じて、これまでのジーンズマニア以外にも顧客層が拡大したように思います。「RESOLUTE」の取扱店舗も、アメリカン・カジュアル系のジーンズ・ショップだけでなく、欧州ブランドを多く扱うセレクトショップが増えました。そして、セレクトショップのブログで「RESOLUTE」が掲載され始めると、細身のシルエットが主流になってきたメンズファッションにフィットするジーンズとして、ブランドの知名度も高まりました。

事業開始3年目（2012年）には、「RESOLUTE FAIR」（リゾルト・フェア）を開始しました。これは全国各地で全品番を期間限定で委託販売するとともに、林氏自らがお客さまのフィッティングを行うというもので、これをきっかけにもととの林氏のファン（通称「ハヤサー」）に加え、顧客層も拡大し、林氏も全国的に知られるようになりました。

ジーンズはもともと男性の愛好者が多いのですが、ウエストは26インチから対応しており、また、主力の商品はレングスも豊富なので、女性の人気も集めています。30－50代まで幅広い年齢層に愛好され、国内だけではなく海外からも、「こういう商品が欲しかった」ということで引き合いが増えつつあります。



尾道デニムプロジェクトでの「RESOLUTE」の展示

「RESOLUTE」は全国約95店舗で販売していますが、現在は各店舗での売り上げ拡大を目指しています。また2年前からはイタリア・フィレンツェで開催されるPITTI UOMOという展示会にも出品し、欧州での販売も強化しています。アジアでは香港、上海等において「RESOLUTE」に注目が集まっています。なお、「RESOLUTE」は素材、縫製、加工の全工程を国内で行っており、日本の技術力をベースに成り立っています。「メード・イン・ジャパンのジーンズ」であることも「RESOLUTE」が海外から注目される要因の一つではないかと思っています。

3. 今後の抱負

当社は「RESOLUTE」以外にも、さまざまな紳士・婦人・子供用のカジュアル衣料を展開しています。今後も企画提案、OEM事業を基盤としながら、「RESOLUTE」のような新規事業にも果敢に参画していきたいと考えております。そのためには、当社の強みである「人材力」「企画力」「対応力」にさらに磨きをかけて、取引先から信頼され、愛される会社になることが前提であると考えています。

（聞き手：広報グループ 石塚哲也）